



セブンファーム説明資料



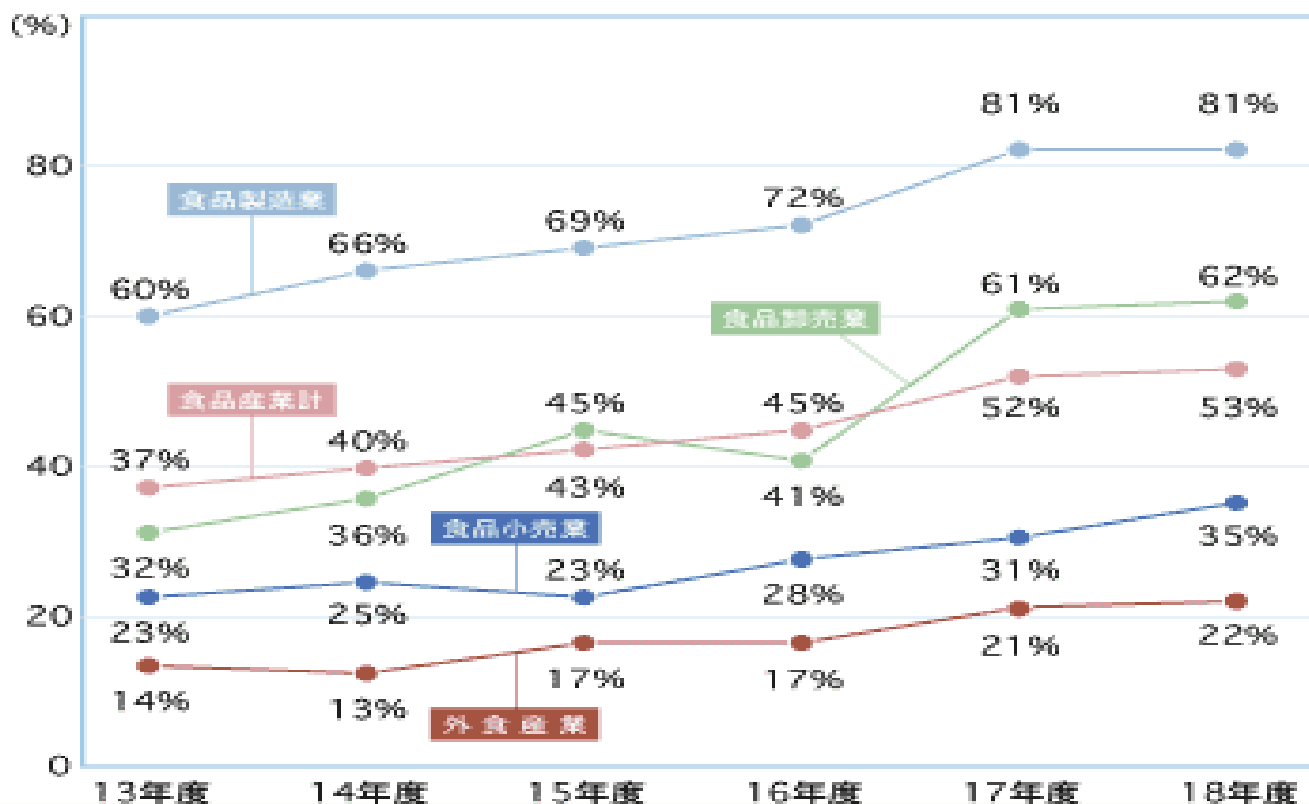
I 環境への取り組み強化

I、目的

食品リサイクル法が2007年に改正、2012年までにリサイクル率を45%まで上げる必要あり。お店から出る食品廃棄物を**食品循環資源**として再生利用

企業の社会的責任(CSR活動)として、環境問題に取り組む

2、食品循環資源の再生利用等の現状



- ◆ 食品小売業のリサイクル率は30%前後、流通の過程での廃棄物の発生を抑制することが最も重要、ただ難しい課題も多い。
- ◆ 2012年の45%のリサイクル率を目標に、循環型のシステム構築が最大の課題。再生利用事業場と組んだ飼料化や堆肥化事業推進

Ⅱ 農業生産法人設立による 環境への取り組み例

1、コンセプト

- ◆ 食品循環資源を再生利用するための仕組み
 - ・店舗からの食品廃棄物(食品残渣)を食品循環資源として堆肥化
 - ・再生された堆肥を畑に戻し、農産物を生産
 - ・生産された農産物を食品廃棄物を出した店舗で販売
- ◆ お客様にわかりやすい(お客様もループに参加)
 - ・身近でわかりやすい活動としてお客様に伝え、環境の取り組みに参加していただく「リサイクルの意識・農業の現場理解・収穫への参加」など

2、全体図



- ◆ 食品リサイクル法の施行に伴い、セブンイレブンで食品廃棄物を再生利用資源としての回収を始める。
- ◆ 2006年には堆肥化センターへ回収した資源を搬入し堆肥化が進む
- ◆ IYにおいてもリサイクルに取り組みを開始
- ◆ リサイクルループ完結に投入する農地が必要
- ◆ 農地法などの規制の下、ループ完結のために農業生産法人を設立し、この取り組みを完結させることとなった。

Ⅲ 農業生産法人設立 富里モデル①【概要】

Ⅰ、概要



直営農場が富里市で実施された経緯

リサイクルループ完結に

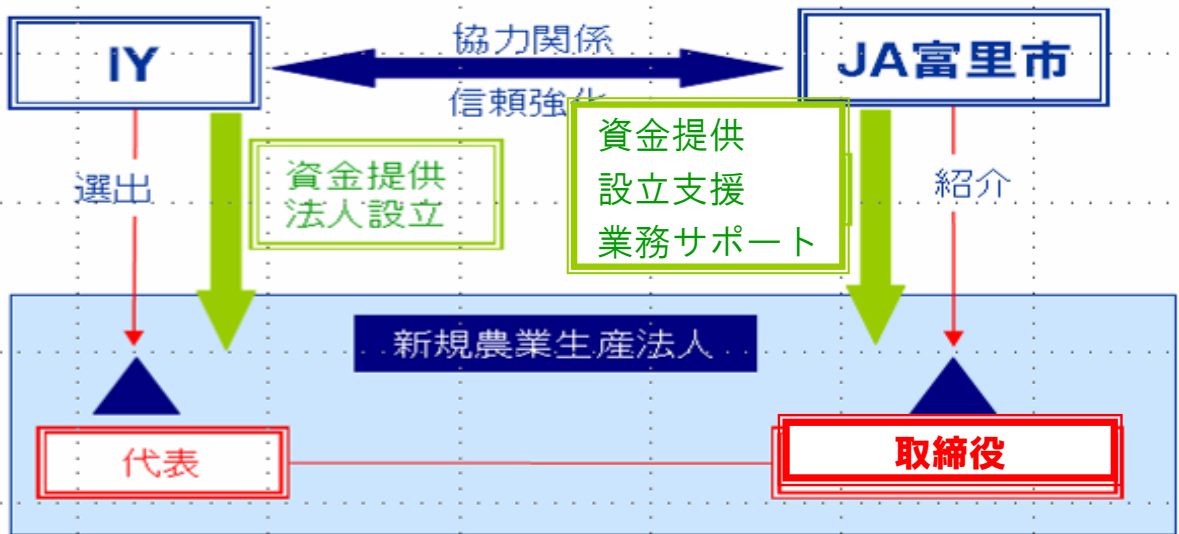
- 1、物流コストを出来るだけ抑制すること
 - 2、生産者含めこの取り組みに理解があることがポイントとなる。堆肥化工場が千葉県八街市にあること
- また、以前より取引があるJA富里市が理解を示し、前向きに検討いただいたことから、直営農場の取り組みが富里で実施されるにいたった。

直営農場『セブンファーム富里』

場所：千葉県富里市（JA富里市管内）JA富里市本所から徒歩5分の場所
面積：2町歩(2ヘクタール) 6000坪 専業農家の耕作地で土壌改良の必要なし
生産：JA富里市組合員に農作業委託
用地：上記委託生産者の農地を借用
借地開始時期：2008年8月～

Ⅱ、実行体制

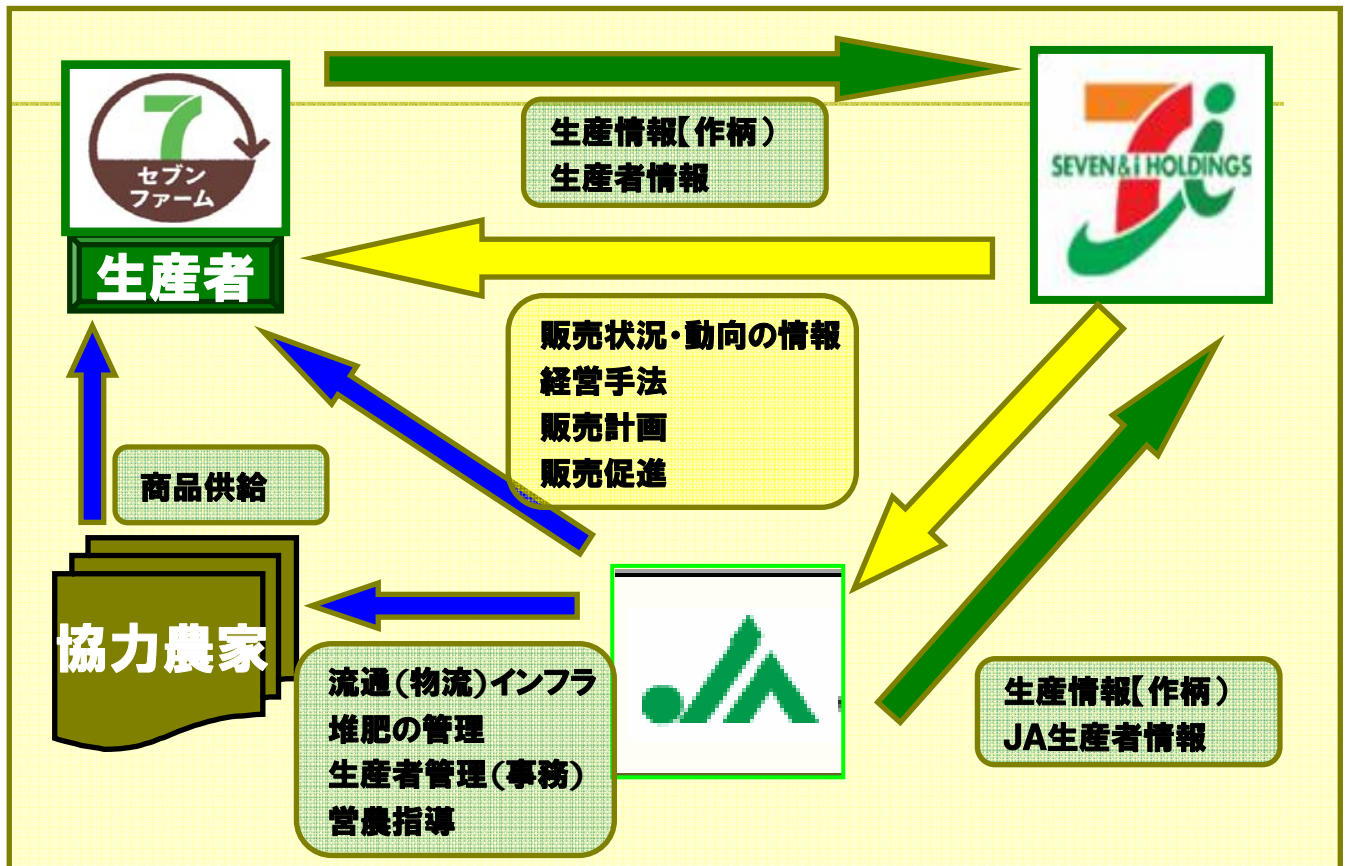
(株)イトーヨーカ堂が母体となり、直営農場を農業生産法人化。
実質的な栽培作業は、JA富里市にご紹介いただいた組合員(法人生産者)に委託
(生産部長のご親戚)。法人の代表者をIY内部から選出する必要あり。



◆農地法に基づき生産者・JA・IYが出資し、それぞれの専門分野でのノウハウを活かし、情報共有し、協力体制をとっていく。

IV 農業生産法人事例 富里モデル②【具体的運用方法】

I、協力体制



- 3者連動による経営管理手法で、農業経営を実践し生産者の安定収入確保
- 販売動向や情報の共有により生産段階でのロス削減(商品化率の向上)
- 販売促進による売上増効果(イトーヨーカドーのCSR活動・お客様参加型)
- 生産情報から、市場で流通しない商品の販売(生産リスク共有により栽培)
- 生産者(販売者)情報から、不足商品の生産・販売と調整(量目調整・形態変更)
- JAとIYの持っているインフラ・物流を活用することでコスト削減
- JAによる堆肥の販売・管理により環境循環型【ループ】の仕組み構築

V - i 農業生産法人セブンファーム取り組み事例

◆店舗での販売 収穫状況と広告、売場を連動させ販売

収穫期を向かえ、店舗での販売が開始された。

- ・三位一体の取り組みの中、出荷商品・数量にあわせ売場で展開できること
- ・広告掲載と連動しながら販売できることなど小売業でのメリットを活かす。



イトーヨーカドー

八柱店では、別チラシにてセールを実施しております。



大切な食べ物が、大地の恵みたっぷりの野菜に生まれ変わりました。

イトーヨーカドー直営農場

『セブンファーム富里』より

五香店に

初入荷!



9月に「セブンファーム富里」で親子1日農業体験ツアーを行いました。



富里の自営農場にて食物残渣を使用した堆肥によって栽培された農産物です。

千葉県富里地区産 葉付きだいこん
19.9円/箱 1本 **148円**

表面のキズ、汚れなどあり決して真っ白な大根ではありませんが中身は全く変わりありません。

お一人様1点先着150点限り
千葉県富里地区産
だいこん
(糖外品)
19.9円/箱 1本 **59円**



富里の自営農場にて食物残渣を使用した堆肥によって栽培された農産物です。

千葉県富里地区産
ブロッコリー
19.9円/箱 1箱 **158円**



セブンファーム富里の協力農家 田口さんよりお届けしています。

千葉県富里地区産
舞茸
19.9円/箱 1箱 **398円**

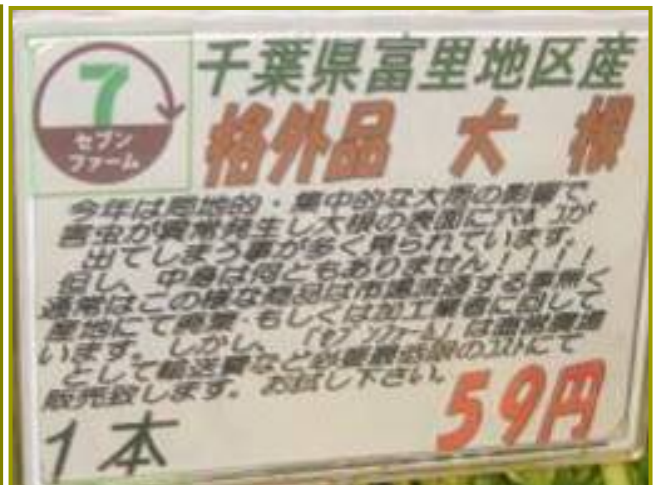
イトーヨーカドー株式会社 八柱店 0476-23-1111

V - ii 農業生産法人セブンファーム取り組み事例

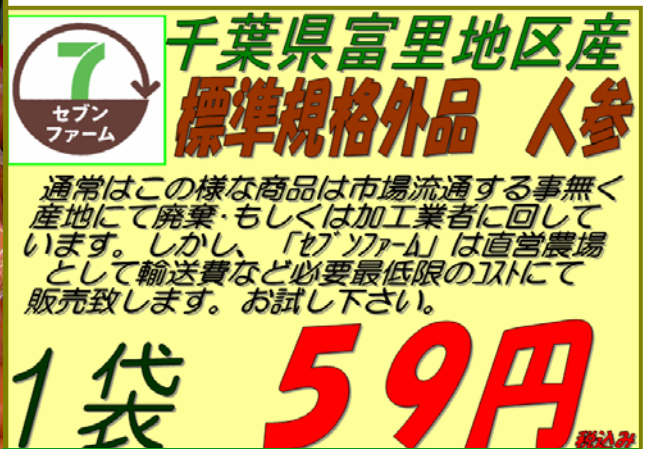
◆市場流通しない商品を販売

- ・ 天候によって大きく左右される農産物、今までは流通段階で設けられる規格から大きく外れるものは生産ロスとして廃棄されていた。
- ・ 法人として、生産者同様リスクも共有し対処していく。そのために、生産概況などこれまで伝わりにくかった情報もダイレクトでコミュニケーションがとれ、生産段階のロスを減らす取り組みが出来る
- ・ 販売の現場でもその情報をお客様に伝え、販売することが出来る

◆販場展開例



規格外の市場出荷しないものをPOPで説明し販売。



畑にある、市場に出せないような小さいサイズの商品も人気!!

V -iii 農業生産法人セブンファーム取り組み事例

自営農場を活用し収穫への参加や見学を通じ

- ・ 農業の現場で実際に体験していただくことで先ず農業の現場を知ってもらう
 - ・ 社会問題の『環境』への関心を持ってもらう
 - ・ リサイクルの意識 食べ物を無駄にしない、もったいないの意識を持ってもらう
- 身近で判りやすい取り組みとして、お客様と一緒に取組んでいく



座学では、食品の残り物が肥料になることを説明

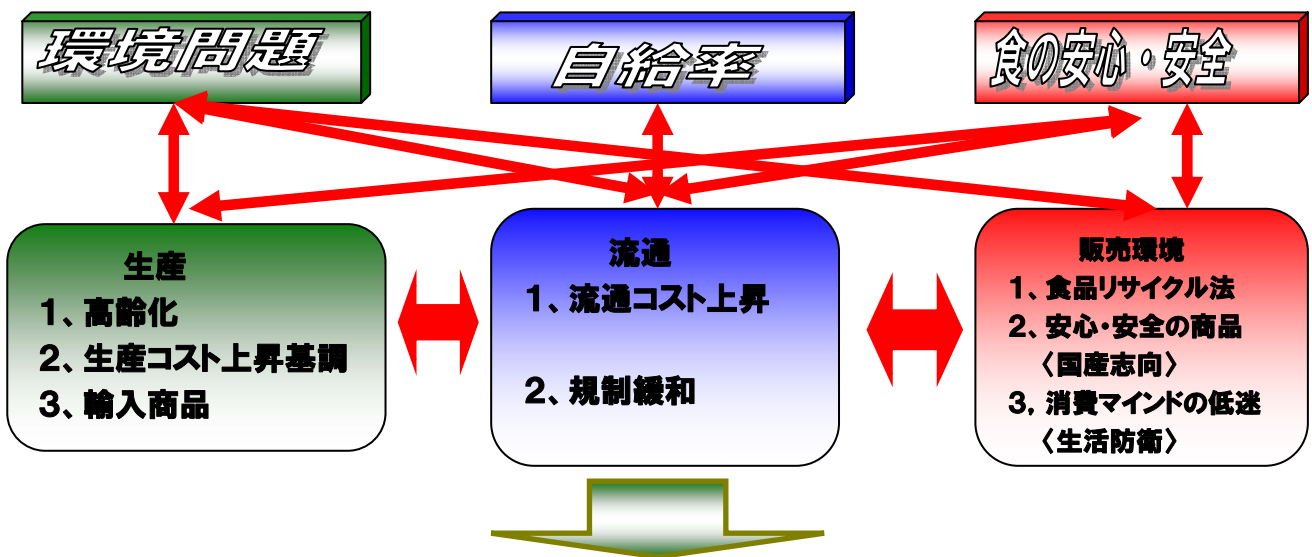


VI 農業法人の取り組みと 今後の展望

◆農業を取り巻く環境

環境への取り組みに端を発したが、現在農業を取り巻く多くの問題について解決の一路

- 1、食の安心・安全を脅かす事件・・・国産需要
- 2、国産需要高まるも自給率が低い・・・高齢化・就農人口の減少
- 3、遊休地・耕作拒否地の増大
- 4、消費低迷・・・人口の減少、高齢化
- 5、販売環境の悪化・・・景気減速による消費マインド低迷
(生活防衛の意識高まり、低価格志向が強まる → 生産コストは上昇基調で経営圧迫)



- | | |
|--|--|
| <p>1、生産</p> <ul style="list-style-type: none"> ①小売の情報を共有化することで生産ロスの削減 ②売り先が明確化され、新しい商品の試作なども積極的に出来る ③市場流通に即した規格でなく販売可 ④堆肥の使用が上手くいけば生産コストの削減につながる ⑤生産の現場に入ることによって生産行程の確認ができる ⑥新しいビジネスとしての雇用創出につながる | <p>2、販売</p> <ul style="list-style-type: none"> ①循環型を築くために、必然的に地産地消が行われる ②農地・生産者が特定でき、生産の行程が確認できるとから、安心・安全へ。 ③くだりでの消化や流通コスト・生産コストが削減できれば価格メリットも出る <p>3、その他</p> <ul style="list-style-type: none"> 収穫体験やイベントの実施により食育の一端を担うことが出来る |
|--|--|

農業を取り巻く環境の下、多様な視点で貢献できるように取組んでいくことも考慮していくことが必要